

読書をお金に変える技術

千田琢哉 ばる出版

文筆家、愛知県犬山市生まれ・岐阜県各務原市育ち、東北大学教育部卒、大手の経営コンサルティング会社勤務を経て独立・述べ 3300 人のエグゼクティブと 1 万人を超えるビジネスパーソン達との対話によって得た事実とそこで培った知識を活かし“タブーへの挑戦で次世代を創る”を自らのミッションとして執筆活動を行っている。

著書は本著で 103 冊目

(プロローグ)～稼ぐ為だけの読書があつていい～年収がどんどん下がって本当に深刻に悩んでいる人が増えている、又若くして子会社出向やリストラされている人が増えている、折角念願の独立を果たしたのに頑張ろうにも具体的にどうすればよいのか分からない人が増えているだから私も本気で答えようと思った、全て読者の日々の質問に返事するつもりで書いている、ひたすら稼ぐ為だけの読書について本音をぶちまけたいと思った。サラリーマン時代から現在に至るまで継続的に稼ぐことが出来たのは本のお陰だった。学生時代に貧り読んだ「中村天風」「安岡正篤」「松下幸之助」の本の話を経営者達にするだけで新入社員の頃から打ち解ける事が出来その結果仕事を貰った千数百円の単行本がキッカケでトータル数億円の大型プロジェクトを受注できる流れを創ったこともあった、僅か 740 円の新書がキッカケで約 1 千万円の税金が戻ってきたこともあった、ちゃんと思い出せばきりが無い位に私は本のおかげで稼がせてもらった、さあこれから稼ぐ事に、とことんこだわった読書を伝授しよう！

NO 1. つべこべ言わず先ずベストセラーを買え

お金はもたもたする人間が大嫌なのだ、ベストセラーは概して読み易いし様々な部分が洗練されている、先ずは一流品に馴染むことが稼ぐ事へのスタートなのだ

NO 2. “ベストセラーもどき”からも学ぶ事は沢山ある・本物のベストセラーに育つ事もある、誰だって成功する前は“もどき”の筈だ誰もが必死に成功する為に渾身の知恵を絞っているのだ。

NO 3. 自分の相性のいい作家と出会ったら勝ち～恋愛と同じで直感で分かる。

その作家の本を読んだだけで生命力がみなぎってくる・毎日が楽しくなる好きな作家だったらこの窮地をどのように乗り越えるだろうか？と想像できて、こんなに強い応援団は他にいない

NO 4. 流行に関係なく好きなジャンルをトコトン掘り下げる為には他の分野も学んで視野を広げなければならない筋トレでは栄養学・生物学・化学・医学の本を読む等自然に流行にぶち当たり先取りできる様になり好きな事をトコトン突き詰める

NO 5. 「ビジネス書・啓発書ばかり読んでいたらバカになる」は嘘、1 冊の本を出す為には、数多くのプロ達が係り、稼ぐために洗練された言葉が本に詰まっている

NO 6. 「小説なんて所詮作り話だから役に立たない」は嘘、

P 1

優れた小説には人間の心の機微を予習するには持ってこいなのだ、あり得そうな事が読者の心を打つ～桐野夏生、カミュヘミングウェイ、スタインベック、川端康成、太宰治、村上春樹・・・

- NO 7. 漫画を侮る人はお金を稼げるようにはなれない～出版業界で漫画はドル箱で花形中の花形、時代は変化しているのだ、私も漫画から人生を教わった、マンガのお陰でお金を稼げるベースを吸収できて自分自身の全身で学べた。
- NO 8. エリート著者の本を読んで興奮するだけで終わらない
マッキンゼー、ハーバード、MBA のタイトルだけで売り上げが急上昇しかしエリート達は世間が考えるお金持ちという程には決して稼いではない一瞬で分かる包装紙にお金を払う可能性がある。
- NO 9. 落ちこぼれ本にはホラ話が多い～本気で稼ぎたければいつも一段上から物事を俯瞰する癖をつけて、のめり込むのではなく誰が一番得をしているか洞察する
- NO 10. スタート地点が自分と同じレベルの著者は狙い目～著者プロフィールを見る、常に自分の成長を客観視し乍らそれに見合った著者を師匠にする事だ。
- NO 11. 具体例が多い本はお買い得～感動は自分の経験と照らし合わせる事が出来るかで決まるので出来るだけ具体例の沢山ある本を読むこと、業界や立場なんて気にせずドンドン具体例に触れておくことだ
- NO 12. コンサル本はその著者の最初のベストセラーに注目しろ～本物ならいつまでも人に搾取されている筈がない、本物のコンサルは自分の事務所も繁盛している。コンサルの評価は 100%事務所の業績で判断すべきだ。
- NO 13. 創業社長の話は苦勞話よりも自慢話に注目しろ～一代で東証一部上場企業を築いた人と年商 1 千億円企業を築いた人は別格だ自慢話には稼ぐコツが満載で他人の自慢話を喜んで聞けるようになれば・あなたは成功する日が近い。
- NO 14. 成功者達の本を読んでいるうちに同僚にいちいち嫉妬しなくなる、嫉妬する人には人も金も寄り付かない、人間関係のトラブルの殆どは根っこに嫉妬心がある。
- NO 15. 著者プロフィールはブランディングの教材～自分をブランディングしていく事は稼ぐ為に欠かせない、著者プロフィールはブランディングの最高の教材だ、ペンネーム・顔写真・退職した会社名・大学名・資格の多さ等の知恵と工夫を織り込む
- NO 16. マルクスの資本論は今直ぐ読んでおけ～人を使う山場には必須で、最終的にどんなに完璧に見える理論も大衆の本能や気分には叶わない、マンガでもよい、一読すれば本質的な問題を考えさせてくれる。
- NO 17. 漫画「カイジ」は今直ぐ読んでおけ～「賭博目次録カイジ」登場人物の悪役は原則全て金持ちだ、彼等は欲望を律し冷静沈着に物事を判断している、全ての行動や発言の間違いの結果として貧しい人生が必然的に定着しているのだ。
- NO 18. 20 年以上増刷を繰り返している成功哲学書は本物～デニス・ウェイトリー、スティーブン・K・コヴィー、マーク・フィシャー等の本をチャント読んで

習慣化すれば間違いなく稼げる

- NO 19. 長期的に成功したいなら、長期的に成功している著者の本を読む
全ての業界で稼ぎ続ける為には長期的視野で深く掘り下げていく姿勢が必須
- NO 20. お金持ち本は「流行本」と「時流本」に分類する～賞味期限が1年以内
と10年以上の差本質を押さえ乍らも好奇心旺盛に変化を楽しみ続ける事が大切
- NO 21. ピンときた箇所にはその場で付箋を貼っておく～あなただけのポイントを収納
しやすくなり、より効率的に稼げる、再読する度に付箋はどんどん外す
- NO 22. あなたにとって読みにくい名著一冊より・読みやすい類似本3冊、お金を稼ぐと
いう事は、お金を尊敬して・お金に好かれると云う事だ
- NO 23. 読書日記をつけるより、とりあえず試した方が一発で憶えられる、本と現実の
ギャップで痛い目に遭う事こそが、あなたにとって生涯の宝となる。
- NO 24. 命がけの暴露本は最高の情報～世界情勢や政治・経済の本質を学ぼうと思
ったら著者が命がけの暴露本を読んでおくこと、小室直樹氏や長谷川慶太郎氏の
本は分かり易い言葉で世の中の本音を教えてくれた。
- NO 25. 出掛ける際に必ずペンと本を携帯する～アイデアは浮かんでもすぐ忘れる
ペンを携帯していないのは将来の1億円をドブに捨てている様なものだ、多くの
場合アイデアはリラックスして適当に開いたページを読んでいる時に閃くものだ。
- NO 26. 枕元には必ず数本のペンと開いたノートを置いておく～普段は読書して思考
を巡らせておいた人だけリラックスしたらアイデアが生まれ易い環境は寝室です
- NO 27. 本棚は背表紙が全て眺められるものがいい～独りでブレスト～ミングして、
それらを眺めているとアイデアが出やすくなる。
- NO 28. アイデアを出したければ本棚を眺めてピンときた数冊をパラパラめくる・・・
すると運命の言葉に出会う、本好きな人は書店で1分以内に無意識の内に気が
付いたら本に触れている、それはあなた自身がその本を求めているから。
- NO 29. 本棚に難しい本が並んでいる人より簡単な本が並んでいる人の方がお金持
ちで買った本を血肉として何千・何万倍に化けさせている。
- NO 30. ひいきの著者が発信している情報は全て目を通しておく～本以外の情報に
触れてこそ本に書かれている真意が理解できる。
- NO 31. 新人著者でブレイクする人(1%程度)を予測してみる～ブレイクする人は概し
てプロフィールが魅力的で独特の世界観を持っている人が多い。
- NO 32. 何故その出版社は勢いがあるのかの理由を30個上げてみる～今迄は内面
を問われる時代だったが今世紀は更にルックスの優れた出版社が元気だ。
- NO 33. 何故その書店は勢いがあるのかの理由を30個掲げてみる～小さな違いを積
み重ねれば大きな稼ぎの差となって顕在化してくる、あなたも本気で稼ぎたければ
繁盛店の研究をトコトンやるべきだ。
- NO 34. 身近で一番稼いでいる人に最良の著書を聞いてみる

稼ぐ為に大切な事は、何を読むかより、そこから何に気付くか・・・

- NO 35. 成功者達の推薦本はそのまま鵜呑みにしない～ビジネスモデルを見抜く
- NO 36. 書評本は著者と掲載されている本の利害関係を把握して読む
- NO 37. 末尾をあやふやに濁す著者より、きちんと言い切る著者の本を読む
- NO 38. 「やっぱり原書を読むべきだ」という正論は無視していい
超訳や漫画をトコトン読んで実生活に活かした方がずっと賢明だ
- NO 39. 本を読むスピードは他人と比べない～自分のペースで読み続けること
- NO 40. 一瞬で理解できない事は今のあなたに必要な事という事
一瞬で理解できた事だけをすぐに100個試した人だけが稼げる人になる
- NO 41. 本は最後まで読まなければならないではなく読んでもいいのだ、忙しい人には
貧乏な人が多い、お金持ちは自由な時間が沢山ある人が多い
- NO 42. 新しい世界の新規開拓にはネット書店より大型書店の方が公平だ
自分にはあり得ないと思っていたコーナーこそ幅を広げるチャンスだ
- NO 43. 食わず嫌いの著者の本には運命の「ひと言」が潜んでいる事が多い
- NO 44. 夜の読書で目が冴えてきたら、そのまま夜更かしても OK
平素は睡眠をしっかりとる、目が冴えるという事は運命の本という事。
- NO 45. 全身に電流が走ったページは丸ごと破って手帳に挟んでおく、破ったページ
を何回も見ているうちに、まるで自分の細胞に刷り込まれてくるようだ。
- NO 46. 本に対する最高の愛とは中古で売れない位ボロボロに使い倒す事だ
生涯でここまで愛情を注いだ本に何冊出逢うか、あなたの人生の価値
- NO 47. 100冊単位で人脈は入れ替わり年収がアップしていく、実際に本を読んだ
内容を行動に移しながら30冊に達した所で少しずつ目に見える結果が出始めて、
トライ&エラーを繰り返し100冊に到達すると年収に確実に反映する。
- NO 48. 現在20代なら30代向け、平社員なら管理職向けの本を予習しておく
名もなく貧しい頃から本を読んで人生の予習をしておくと、上司や先輩の気持ちが
痛いほどよく分かる、反対に40代でお子様向け・20代や30代向けの本を読むと、
あなたの人生は鬼に金棒だ。
- NO 49. 年下の著者の本は意外な発見が多い～30代を過ぎたら年齢なんて関係
ない、凄いヤツに凄い事実気付かされる、師匠を年齢だけで判断しない。
- NO 50. 「本→挑戦→対話」のサイクルが成功の秘訣～対話は誰でもよい、貴重な
課題を「人」と対話して共有すると、チャンと読めていなかったことに気づく。
あなたが成功できないのは「本・挑戦・対話」の何れか欠けているだけなのだ。

(完)